

業務用チャット(LINE WORKS)を活用した災害時の情報連絡態勢等について

災害時における中野区災害対策本部の運営にあたっては、既存の庁内情報ネットワークを中心とした連絡態勢を構築しているところであるが、災害時における情報伝達の即時性や着実性を鑑み、標記環境を整備したので報告する。

1 システム導入の前提

中野区災害対策本部は、区職員のみならず消防庁や自衛隊など防災関係機関の職員が参集することを踏まえ、対面での意思疎通を原則としつつ、区本部員を中心とした使用とする。

2 導入システム及び運営会社

LINE WORKS(ワークスマバイルジャパン株式会社：東京都渋谷区)

3 利用対象者

区長ほか特別職、管理職員を中心とした災害対策本部員(約60名)

4 処理する業務の対象

- (1) 災害時における必要な情報共有・必要な指示
- (2) 災害対策本部員の安否確認 等

5 導入時期及び実施期間

令和3年4月から当面の間

6 セキュリティ対策

使用する業務端末、必要なセキュリティ対策等は中野区情報安全対策実施基準に従い対応する。

7 その他

(1) 導入経過

- ・2019年発生 of 台風15号・19号を踏まえ、連絡態勢強化方策を検討
- ・2020年7月からLINE WORKSによる連絡態勢を試行
- ・2020年度の試行を踏まえ、本年4月から本格実施

(2) 今後の活用想定

- ・区内における火災発生に係る連絡、情報共有
- ・危機管理等対策本部に係る連絡、情報共有等